

ふくしの ひろば

障害者就労支援促進事業
ほか…2



赤い羽根空の第一便伝達式 (H21.10.1 タカブラ前)

第165号

平成21年11月1日発行

施設福祉部情報

障害者授産施設等製品販売促進事業……4

地域と共に手をつなぐボランティア

特定非営利活動法人SCC……5

明るい長寿社会づくり情報

シルバー文化作品展 ほか……6

ねんりんピック北海道・札幌大会……7

民生部情報

生活福祉資金貸付制度スタート……8

福祉人材・研修情報

介護支援専門員実務研修受講試験……9

なのはな館からのお知らせ……10

介護実習・普及センター情報

県共同募金会からのお知らせ

平成21年度共同募金運動……11

インフォメーション……12

新規事業を紹介します

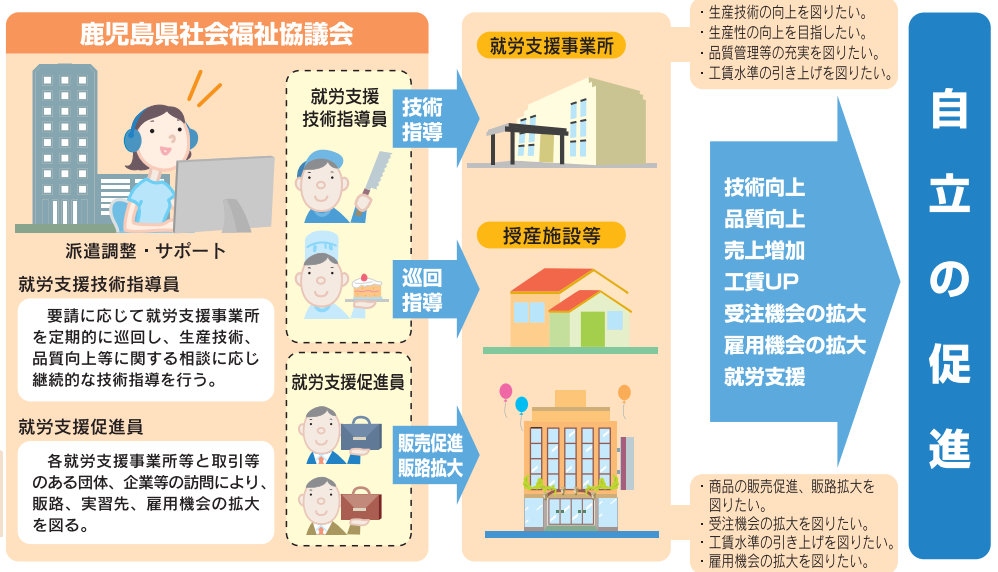


21年7月補正後、
新たに取り組む事業
(5つの新規事業)

- 障害者就労支援促進事業
- 保育所・幼稚園における障害児保育実態調査事業
- 地域ジュニアふれあい体験事業
- 福祉・介護人材就労マッチング支援事業
- ボランティアのなかま紹介事業 ※P5に掲載しています

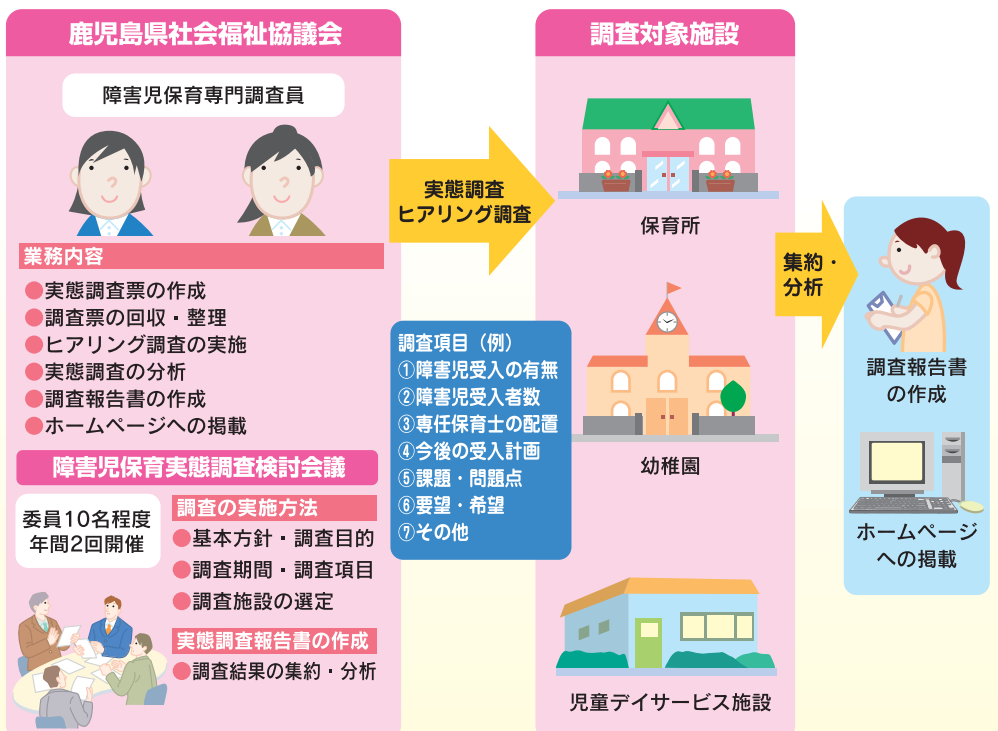
障害者就労支援促進事業

障害者が利用する就労支援事業所等において、生産技術・品質・営業・販売管理等の指導を行い、受注機会の拡大による工賃水準の引き上げを図り、障がい者の就労支援及び自立を支援する。



保育所・幼稚園における障害児保育実態調査事業

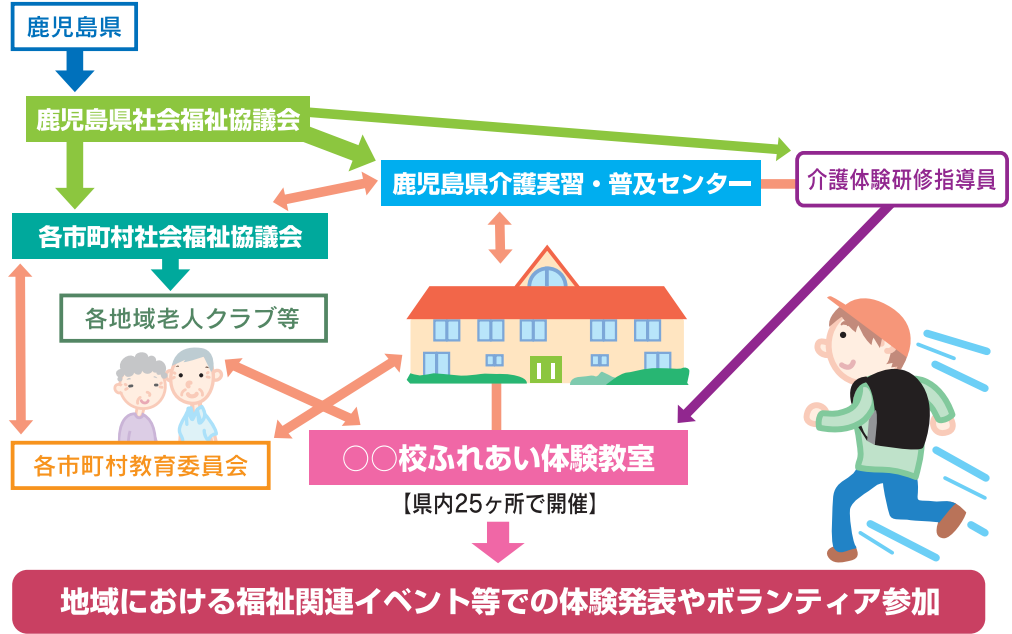
保育所・幼稚園等における障害児保育の実態調査・ヒアリング調査等を実施し、実態調査報告書の作成及びホームページへの掲載などを通じて、保護者や療育支援機関への情報提供及び療育支援機関相互の連携強化を図るとともに、今後の保育所等における障害児保育施策に活用する。




地域ジュニアふれあい体験事業スキーム

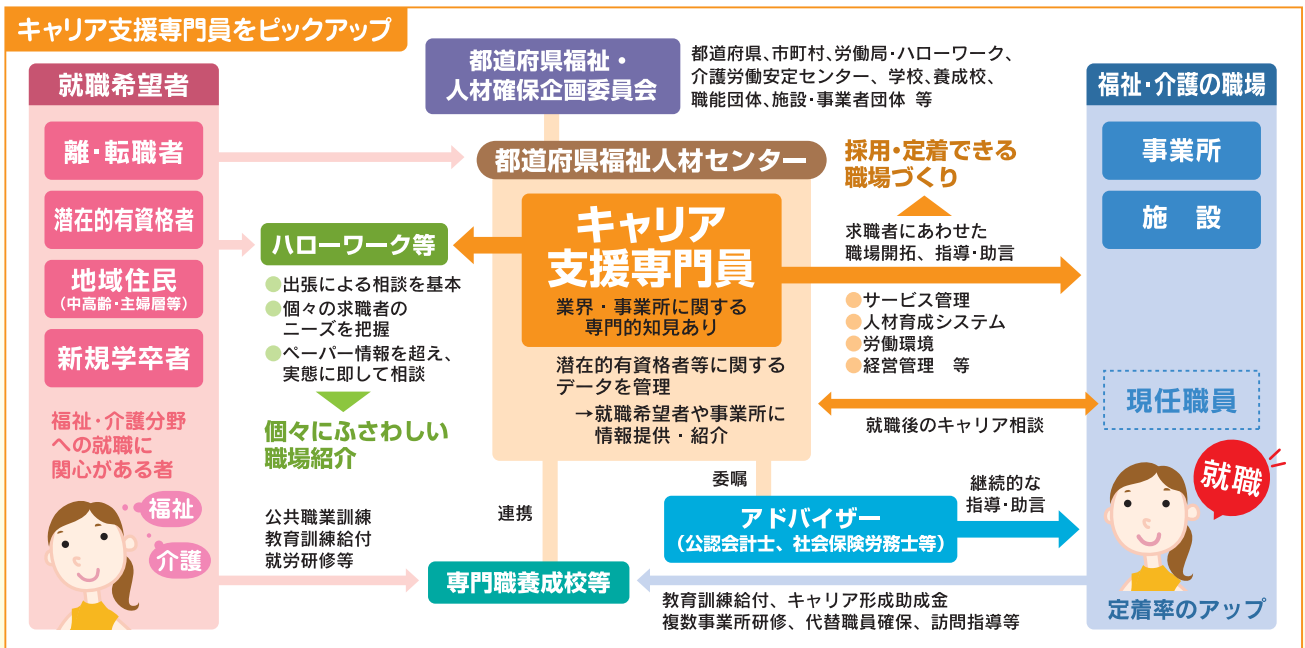
鹿児島県介護実習・普及センターの介護体験研修指導員が、学校や地域に向いて、車いすや高齢者の体の動きなどの体験教室を開催する。

- 開催可能な行事等
 - ・学校行事として行うとき。
 - ・地域の親子会等の行事として行うとき。
 - ・小中高生含む10人以上の団体で行うとき。
- 実施期間
 - ・平成21年9月～22年3月
- その他
 - ・「車いす体験」、「高齢者疑似体験」両方で1～2時間程度。
 - ・どちらか一つでも可能。
 - ・地域のお年寄りの参加を歓迎します。



福祉・介護人材マッチング支援事業

事業名	「福祉・介護人材マッチング支援事業」	事業の目的	福祉・介護人材の円滑な就労・定着を図るため、個々の求職者にふさわしい職場開拓や職場環境の改善、従事者のキャリアアップによる就労意欲の向上等を支援する。
事業計画	1事業計画 平成21年9月から22年3月末まで 1 求人・求職者の開拓（養成所・介護福祉事業所等訪問） 2 働きやすい職場づくりに向けた指導・助言 3 ハローワークとの連携 4 市町村社協や事業所との連携 5 県社協が雇用 職名「 キャリア支援専門員 」 雇用形態は常勤職員 ----- 2勤務場所 県社協福祉人材研修センター及び 北薩【出水市社協】・大隅【鹿屋市社協】・奄美【奄美市社協】 に駐在		福祉・介護の仕事  ※アドバイザーの派遣 公認会計士・社会保険労務士等をアドバイザーとして委嘱し、施設事業所の要望に応じた指導・助言のための派遣。



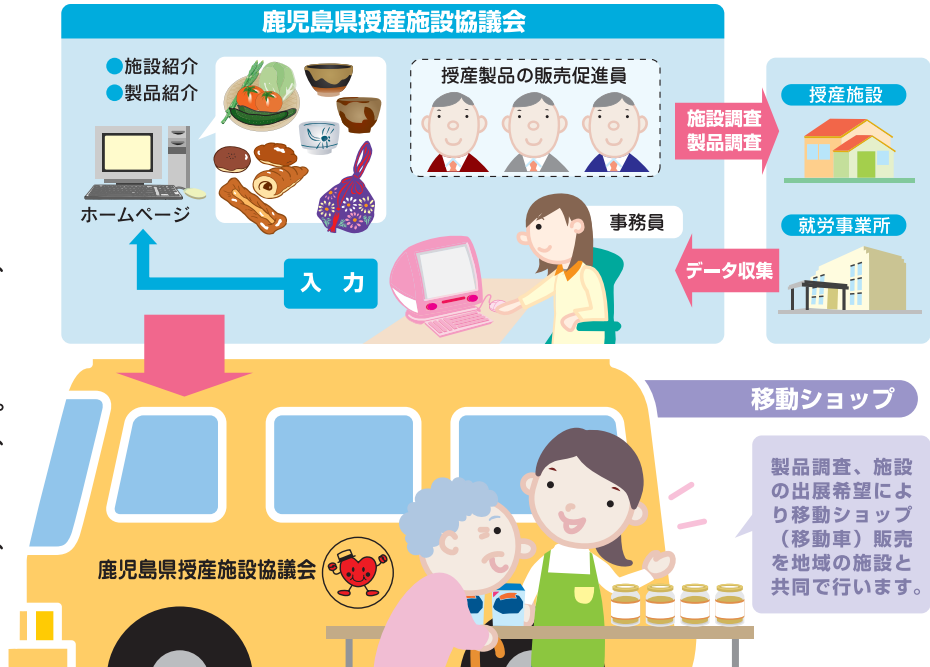


障害者授産施設等製品販売促進事業

～工賃水準の引き上げを図り、障害者の自立及び社会参加を支援します。～

障害者が利用する授産施設等が製作する物品（食品加工品・木工作品・縫製品など）及び提供する役務（クリーニング・清掃など）を県民、企業等に広く周知するため、「販売促進員」が各施設を訪問し、施設情報及び製品情報等について聞き取り調査を行い、その収集情報を「事務員」がデータ入力します。

ホームページを開設し、施設紹介及び製品紹介を行うとともに、各地域のイベント等に施設と共同し、「販売員」を配置して出展販売を行います。



社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>

社会福祉施設のさまざまなリスクに対応するために！

プラン1

施設の業務中事故賠償補償

- ① 基本補償
 - 基本補償(A)は、法人業務を包括的に補償
 - 見舞費用付補償(B)は、賠償責任のない場合の見舞金も補償
 - オプション・医療事故補償も充実
- ② 個人情報漏えい対応補償
 - 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合(おそれのある場合を含みます)に補償
 - クレーム対応費用、見舞品購入費用等を補償

プラン2

施設利用者の傷害事故補償

- ① 入所型施設利用者の傷害補償
- ② 施設送迎車搭乗中通所型施設利用者の傷害補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3

施設職員の災害事故補償

- ① 施設の労災上乗せ補償
- ② 施設職員の傷害事故補償
- ③ 施設職員の感染症罹患事故補償

プラン4

施設の什器・備品損害補償

- 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
- 施設の現金等も補償

◆加入対象は、社会福祉法人等で運営している社会福祉施設です。

- 全国社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、充実した補償内容
- 団体契約のため有利な補償と割安な保険料(掛金)
- 迅速で丁寧かつ適正なお支払い

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記をお願いします

団体契約者
社会福祉法人
全国社会福祉協議会

取扱代理店
株式会社 **福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

〈引受幹事保険会社〉株式会社 損害保険ジャパン

〈SJ08-11763, 2009.02.25〉



スポーツで、まちとくらしをデザイン！

鹿児島市

特定非営利活動法人

SCC

略称SCCで親しまれているスポーツ・コミュニケーション・サークルは、平成12年7月に会員4名で結成した地域スポーツクラブです。翌年5月には継続した活動ができるように、特定非営利活動法人（NPO法人）としてスタートしました。「スポーツはLike・Love・Life」をモットーに、子どもから高齢者までの世代の人々がスポーツ好きになり、スポーツを愛し、生涯にわたりスポーツに親しめるようユニークな活動を展開しています。



■世代間交流をめざしたクラブ活動

日本のスポーツは、一般的に年齢の近い世代の人が集まりチームを作っています。SCCは幼児から高齢者までの世代が参加し、障害者も活動しています。スポーツを通じた世代間交流がクラブ運営の大きな柱となっており、全国からユニークなクラブとして注目されています。



キッズスクール

■キッズスポーツスクール

生涯を通して運動神経が最も発達する「幼児期」に運動能力の向上を目的に開催しています。子どもの本能である「体を動かすって楽しい」という気持ちを大切に、大いに笑い、真剣に伸び伸びとスポーツに親しむ幼児スポーツスクールは、保護者の皆さんからも期待されている事業です。

■夏休み！小学生かけっこ塾

「かけっこ」が苦手というイメージを持ってしまうと、運動嫌いな子どもが育ちます。「かけっこ」の仕方を正しく学び、楽しさが分かると運動好きな子どもに育ち、生涯にわたってスポーツを親しむことができます。「夏休み！小学生かけっこ塾」は、7月から8月に県立青少年研修センターや鹿児島市ふれあいスポーツランドで開催し、140名の小学生が参加しました。



かけっこ塾

太田敬介理事長は、「スポーツを通じて世代間交流が深まり、心身共に健康な子どもたちが育成できます。」と新たな事業展開に意欲を見せておられます。当法人では会員やボランティアを随時募集しております。是非、活動に参加してみませんか。

連絡先

特定非営利活動法人SCC（理事長 太田敬介）

〒890-0005 鹿児島市下伊敷3丁目22-30

HPアドレス <http://www.10bai.com/scc/> TEL 099-229-4222 FAX 099-229-4173

P2～P3の
新規事業
です

平成21年度公募型雇用創出促進事業

ボランティアのなかま紹介事業

鹿児島県社会福祉協議会は、県や市町村のボランティアセンターにボランティア登録し、地域で活躍しているボランティアグループ等の活動を県民に紹介する情報誌（冊子）「ボランティアのなかま紹介事業」を実施します。この冊子は、ボランティアの育成・啓発活動を行うためのもので、来年3月に発行を予定しておりますので、最寄りの社会福祉協議会にお問い合わせください。

第18回

ジルバー文化作品展



県内在住の60歳以上の高齢者

による第18回シルバー文化作品展が9月9日から13日まで、鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で開催されました。日本画、洋画、書、工芸、写真、彫刻の6部門に応募された作品255

点の全てが展示され、年齢を感じさせない力強く若々しい作品の数々が、訪れた人々の感動を呼んでいました。この作品展は、鹿児島県が平成元年から行っている「すこやか長寿社会運動」の一つとして、高齢者の趣味活動を支援し、創作意欲を高めることで心身ともにすこやかで、ゆとりある生きがいづくりに役



立つよう開催しております。審査は、犬童次夫審査委員長をはじめ7人の審査員によって行われ、「年々レベルがアップし、躍動感のある作品や、ほのぼのとした作品があった」と高い評価でした。

9月13日、黎明館講堂で行われた表彰式には、受賞者やご家族が出席され栄えある賞を受けられました。

入賞作品のうち特に優れた作品は、来年の第23回全国健康福祉祭いしかわ大会に出品されることになっています。

入賞者

《敬称略》

鹿児島県知事賞

- 【工芸】道岡 康良(61)
- 「なよ竹」



寺園勝志賞

- 【書】慶田 依子(76)
- 「春望」

鹿児島県社会福祉協議会会長賞

- 【日本画】川東 とめ(68)
- 「平和な一時」
- 【洋画】坂元 春夫(89)
- 「躍動する風景」
- 【書】山口 きね子(68)
- 「王鐸」

- 【工芸】桃原 秀子(83)
- 「望郷」
- 【写真】東 勉(60)
- 「春到来」

なんりんピック鹿児島メモリアル賞

- 【彫刻】西村 哲美(63)
- 「孫の自慢」
- 【日本画】庵下 栄一(77)
- 「黒潮香る「そてつ」たち」
- 【洋画】藤元 美保子(79)
- 「中学生日記(燃えた日々)」
- 【書】徳田 カツ(76)
- 「朝日さま」

- 【工芸】山本 マリ(68)
- 「海床」

審査委員長賞

- 【洋画】水流 静子(73)
- 「鯽漁に備えて」
- 【彫刻】川平 明博(75)
- 「寿老舞」



【彫刻】徳増 徳雄(80)
「感動の優勝65代横綱貫乃花」
その他、金賞8点、銀賞14点、銅賞17点、奨励賞17点が入賞しました。
受賞者のみなさん、おめでとございました。

高齢者賞

- 【洋画】有村 忠之(83)
- 「みどりのマフラー」
- 【書】入佐 ミチ(99)
- 「讚美」
- 【工芸】西村 時彦(86)
- 「紫陽花の小径」
- 【写真】鶴田 政春(80)
- 「花暖簾」

- 【洋画】田中 美智子(72)
- 「漁師閑日」
- 【書】井之上 勇(90)
- 「人生」
- 【彫刻】宮元 順一(71)
- 「トラフスク」

平成21年度
元気高齢者チャレンジ推進事業

高齢者を中心とした地域
貢献活動団体表彰式・事例
発表会を開催します

県内各地域で、高齢者が中心になってさまざまな分野で地域に貢献する活動を行っている7つの団体が表彰されることになりました。離島を含む7地域から代表として選ばれたもので、当日は活動内容の発表と基調講演があります。多くの方々のご来場をお待ちしております。

●日時 平成21年11月10日(火)

午後1時30分

●場所 かしま県民交流センター
県民ホール

●受賞団体は次のとおりです。

- 鹿児島県地域 朝日ヶ丘友々会(日置市)
 - 南薩地域 成川長寿会連合会(指宿市)
 - 北薩地域 出水市公民下自治会(出水市)
 - 始良伊佐地域 池島町老人クラブ太陽の会(始良町)
 - 大隅地域 新城ふるさと先生グループ(垂水市)
 - 熊毛地域 種子島の語り部「ちろ(團炉裏の会)(西之表市)
 - 大島地域 小俣町婦人防火クラブ(奄美市)
- 基調講演
演題：「田田太古の響く SLOWな都市づくり」
講師：徳田 勝章氏(薩摩川内市 峰山地区コミュニティ協議会会長)

ねんりんピック北海道・札幌2009

鹿児島県選手団170人参加

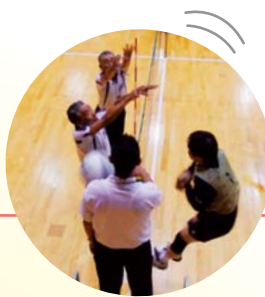
第22回全国健康福祉祭は、去る9月5日から8日までの四日間、北の大地北海道で「ねんりんに 夢を大志を 青春を」をテーマに開催されました。鹿児島県からは19種目の交流大会に監督・選手151人、役員19人の総勢170人が参加しました。

今大会は、広大な北海道での開催ということから、道央、十勝、北見の大きく三つのブロックに分けての開催になりました。4日に入道した選手団（道央地区の競技に参加する選手は県庁で知事の出席のもと結団式を行いました）は、5日にはそれぞれの地区での開会式に臨みました。このうち、札幌ドームで行われた総合開会式では、鹿児島県選手団は2番手に入場し、昨年のかごしま大会のお礼を表す横断幕を掲げて行進しました。

6日からは各地区で行われた交流大会にそれぞれ参加しました。今大会は、概ね天気にも恵まれ、各選手は心地よい秋空の下で、長年の経験と日頃の練習の成果を遺憾なく発揮するとともに、全国の選手との温かい交流はもとより、北海道の自然や味も堪能するなど、想

い出の多い大会参加となりました。

なお、今大会でも、関連イベントとして美術展（鹿児島県からは12点出展）、地域文化伝承館、音楽文化祭、シンポジウム等が並行して開催されました。



主な成績（敬称略）

〔団体の部〕

優勝 水泳（100mリレー）

- 出水 勝隆（64）
- 小丸 公徳（62）
- 羽田 由子（64）
- 木村 慶子（61）
- さくらしまんチーム

〔個人の部〕

- 優勝 水泳（自由形50m）
- 小丸 公徳（62）
- 出水 勝隆（64）
- 打越 眞理子（66）
- 準優勝 水泳（自由形25m）
- 小丸 公徳（62）
- 中村 一良（69）
- 中野 トク（68）
- 赤崎 誠（65）
- 3位 水泳（自由形25m・50m）
- 中野 トク（68）
- 中村 一良（69）
- 中野 トク（68）
- 水泳（バタフライ25m）
- 中野 トク（68）
- 水泳（バタフライ50m）
- 中野 トク（68）

〔最高齢者賞〕

ウォークラリー 林 和子（82）

〔高齢者賞〕

ウォークラリー テニス 平山 五郎（78）
浜島 昭夫（78）

生活福祉資金貸付制度

生活福祉資金貸付制度は、県民の生活の安定や自立を図ることを目的に、低所得世帯等に対し必要な生活資金等を低利又は無利子で貸し付ける制度です。今般、国において社会ニーズに応じた制度改革が行われ、貸付利率の引き下げや連帯保証人要件の緩和などの見直しが行われました。

平成21年10月から
新制度が

start
スタート

1 主な改正内容

資金種類の見直し

資金種類が4種類に整理・統合されました。その中で、失業や減収等により生活に困窮されている世帯の生活の立て直しを支援するため、「総合支援資金」が新たに創設されました。

連帯保証人要件の緩和

連帯保証人を原則必要としますが、連帯保証人を確保できない世帯も貸付けが受けられるようになりました（資金の種類によっては、一部取扱いが異なります。）

貸付利率の引き下げ

連帯保証人を立てる場合は無利子、連帯保証人を立てない場合は年1.5%となります。（資金の種類によっては、一部取扱いが異なります。）

2 利用できる世帯

市町村民税が非課税・均等割課税程度の低所得世帯

※失業等により所得が減少し、現在、上記の状態と同等であると認められる世帯も含まれます。

身体障害者、知的障害者又は精神障害者の手帳の交付を受けている方等がいる世帯

日常生活上療養又は常時介護を要する65歳以上の高齢者がいる世帯

（収入基準があります。）

※なお、左記に該当しても、次の方はご利用できない場合があります。

- 母子世帯と寡婦世帯（同様の貸付制度がありますので、そちらを優先してご利用ください。）
- 現在の居住地に住民登録のない方（住宅手当の申請をしている場合を除く。）
- 債務の返済に充てるために資金を借りられる方
- 民生委員及び市町村社会福祉協議会の指導援助を拒否される方
- 自立及び償還の見込がないと認められる世帯等

3 資金の種類・使途

資金は、次の4つの種類に分けられており、使途は限定されています。

資金名	資金の種類	資金の使途	貸付限度額
総合支援資金	生活支援費	生活再建までの間の生活費用（貸付期間最長12月）	月額 単身15万円以内、2人以上20万円以内
	住宅入居費	住宅の賃貸契約を結ぶための経費（敷金、礼金等）	40万円以内
	一時生活再建費	生活再建に必要な一時的な費用	60万円以内
福祉資金	福祉費	日常生活を送る上で一時的に必要な費用（技能習得費、住宅改修費、福祉用具購入費等）	資金の用途に応じて貸付上限額設定
	緊急小口資金	緊急かつ一時的に生計の維持に必要な費用	10万円以内
教育支援資金	教育支援費	高校、専修学校、大学等に就学するために必要な費用（授業料、学用品の購入費、交通費等）	高校月額3.5万円以内、高専月額6万円以内 短大月額6万円以内、大学月額6.5万円以内
	就学支度費	高校、専修学校、大学等の入学に際して必要な費用	50万円以内
不動産担保型生活資金	低所得世帯向け	高齢者世帯の生活費（現在居住しており、一定額以上の資産評価のある不動産を担保に貸付契約を締結）※要保護世帯向け資金は、保護の実施機関が資産の保有要件を除き保護が必要と認める世帯が対象	月額30万円以内
	要保護世帯向け		保護の実施機関が提示する額の範囲内

4 借り入れの申込み

借り入れ申込みにあたっては、資金種類により必要な提出書類が定められています。また、貸付や返済の条件、申込書の書き方や提出書類などについては、地区の民生委員又はお住まいの市町村社会福祉協議会にご相談ください。

5 その他

- 1.総合支援資金を借りられた方は、自立した生活を早く営んでいただけるよう、市町村社会福祉協議会やハローワーク等の支援・指導を継続的に受けていただきます。
- 2.生活福祉資金は、資金種類ごとに返済期間が定められていますので、借入申込み時に無理のない返済計画を立てていただきます。なお、最終の返済期日までに返済されない元金については、年利10.75%の延滞利子が加算されます。

詳しくはお住まいの市町村社会福祉協議会にお問い合わせください。

平成
21年度

介護支援専門員実務研修受講試験について

第12回介護支援専門員実務研修受講試験が、10月25日（日）全国一斉に実施されました。

今年度は、奄美会場を含む県内6会場で試験を実施し、昨年度より約280人多い2,757人が受験しました。

合格発表は、12月10日（木）の予定です。

なお、合格者は、平成22年1月から3月に予定されている実務研修（前期・後期）を修了することで、介護支援専門員になることができます。



この試験は、介護支援専門員（介護保険に基づくサービスを利用者の視点でマネジメントする専門職で、ケアマネジャーと呼ばれています）になるための実務研修を希望する方が、介護支援専門員にふさわしい介護保険制度、要介護認定等介護サービス計画に関する基礎的知識や技能を修得しているかを、事前に確認するための試験を行うことにより、介護支援専門員の高い資質を確保することを目的として、鹿児島県知事の指定に基づき、鹿児島県社会福祉協議会が実施しました。

参考 過去の試験結果

年度	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
10～15	18,566	5,915	31.9
16	2,733	642	23.5
17	2,823	556	19.7
18	2,586	405	15.7
19	2,236	410	18.3
20	2,244	376	16.8
累計	31,188	8,304	26.6

ソウェルクラブからのお知らせ

ソウェルクラブ鹿児島事務局では、今年度2回目の会員交流事業として、全国的にも有名な落語家桂文珍師匠の「全国独演会ツアー」が、ここ鹿児島でも開催されることからチケット販売を行いました。

9月の連休の中日にもかかわらず、多くの方から応募があり、55名の方にチケットを販売しました。

当日は良い天気にも恵まれ、遠くは与論町からも参加をいただきました。

参加された方々は、文珍師匠の軽妙な語り口に、日頃の疲れも忘れて皆さん楽しんでおられたようでした。



参加者の声

今回、「全国独演会ツアー」のチケットを購入することができました。会場の宝山ホールに着くと、すでに長い行列ができていましたが、座席指定だったので、落ち着いて着席できました。

文珍師匠の話術は想像以上にすばらしく、演目はもちろんですが、間の取り方、顔の向け方、体全体を使っての表現等、思わず引き込まれてしまい、腹の底から笑うことができました。同伴の妻も、体をくねらせて笑っておりました。ソウェルクラブの楽しい企画に感謝いたします。(60歳代男性)

ソウェルクラブ鹿児島事務局では、会員の方々の福利厚生を図ることを目的として、一泊旅行、観劇や映画などのチケット販売、ゴルフ大会、テーブルマナー教室など各種事業を実施し、多くの方々の参加をいただいております。

また、地域サポート事業として、県内のホテルを利用するときの宿泊料の割引を受けられるホテルなどもあります。

今後とも、ソウェルクラブをよろしく願います。



平成21年度の公開講座は、西川きよし氏夫人である西川ヘレン氏を講師に迎えて9月6日に開催いたしました。当日は県内各地からヘレン氏の話をお聴こうとする人たち4百余名の参加がありました。

ヘレン氏はタレントの妻、母と義父母3人の多重介護を経験し、女の夢、嫁の立場、母親の役割、そして妻の責任など、生き様を通しての体験談を話されました。

壮絶な介護の後、実母・義母との永遠の別れについて話された時、多くの参加者が涙を流されています。ユーモアたっぷりに話され

平成21年度公開講座
西川ヘレン氏を迎えて
演題「大家族・支え愛・見守り愛・励まし愛」



北指宿中学校吹奏楽部

ながらもその端々には家族を支え、見守り、励ますヘレン氏の優しさが散りばめられ、聴衆は胸を打たれ、感動の連続で一時間半余りの講演時間があっという間に過ぎてしまったようでした。

また、講演に先立って行なわれたアトラクションでは、各地で演奏活動を行なっている「北指宿中学校吹奏楽部」の演奏を楽しみました。「かごしま元氣！長寿宣言」のファンファーレをはじめ「海雪」「ふるさと」「美空ひばりメドレー」など中学生48名が心を一つにした演奏にも聴衆は大きな感動をうけました。

お問い合わせ先

指宿市東方9300番地1 TEL 0993(27)1221

介護実習・普及センター情報

講座名	日時	内容	場所	受講料等
介護ふれあいのつどい	11月11日(水) 10:00~16:00	①上映会、講演会、体験発表 ②介護体験(衣服着脱、起上がりなど) ③認知症相談、介護相談、健康相談、介護食試食、自助具製作など	かごしま県民交流センター	無料 ただし、内容欄の①、②については事前申込みが必要
介護地域講座(西之表市)	《1日目》 11月25日(水) 10:50~17:00 《2日目》 11月26日(木) 9:30~15:00	《1日目》 介護保険制度 口腔ケアと食事介助など 《2日目》 認知症高齢者への理解 介護予防など	西之表市保健センター 「すこやか」	500円
自助具製作教室	11月28日(土) 9:00~12:00	身近な材料でつくる自助具(講義・実習)	かごしま県民交流センター	1,000円

◎申込み方法等の詳しいことについては、鹿児島県介護実習・普及センターへお問い合わせ下さい。

11月~12月分

介護講座のご案内

お問い合わせ先

鹿児島県介護実習・普及センター

(運営：鹿児島県社会福祉協議会)
〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号(かごしま県民交流センター内)

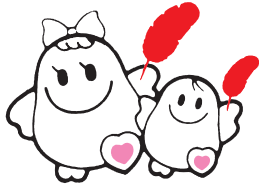
TEL 099-221-6616 FAX 099-239-0384

E-mail kaigo@kagoshima-pac.jp

HPアドレス <http://www.kagoshima-pac.jp>

県共同募金会からの
お知らせ

地域の福祉、みんなで参加



☎ 099 (257) 3750

URL <http://www.minc.ne.jp/akaihane>

皆様の善意に感謝いたします!

赤い羽根共同募金運動 スタート

10月1日～12月31日

今年も皆様のご協力をお願いいたします



「赤い羽根空の第一便」 伝達式

10月1日午前10時30分から
鹿児島市天文館通りで開催さ
れ、厚生労働大臣から託され
たメッセージと赤い羽根が県
知事と鹿児島市長に、また中
央共同募金会会長のメッセー
ジと赤い羽根が県共同募金会
会長と同鹿児島市支会会長に、
ANAキャビンアテンダント
の平崎あずささんからそれぞ
れ伝達されました。

今年も「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに、第63回「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。
10月1日、ANAグループをはじめ関係者の協力を得て、恒例の「赤い羽根空の第一便」伝達式が鹿児島市天文館通りで行われ、募金運動がスタートしました。
今年も皆様の温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

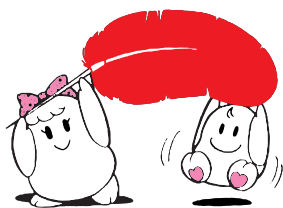


伝達式に引き続き天文館一帯でボランティアの方がたによる街頭募金運動が行われました。

- ① 市町村の社会福祉協議会が行う福祉サービス事業
- ② お年寄り、障害者、子どもたち等のための民間福祉施設の整備事業
- ③ 活動が県下一円を対象とする民間福祉団体の活動事業

- ④ 各地域で障害者支援・難病や青少年の育成活動等に取り組んでいるグループの事業
- ⑤ 町内会等が実施する周辺地域の安心・安全まちづくり事業
- ⑥ 災害被災者への見舞金等へ配分(助成)されることとなっており。

少子・高齢化が進行する社会においてこのような支援の必要性が高まってきております。
今後とも、地域福祉の充実のため皆様方の一層のご理解とご協力をお願いいたします。



ありがとう メッセージ

「担架の購入とベンチの設置」

かじま
嘉入集落(大島郡瀬戸内町)

この度、共同募金の安心・安全福祉のまちづくり支援事業による助成で、救急搬送用の担架を購入し、また、バス停にベンチを設置することができました。嘉入集落は住民のほとんどが高齢者です。集落内は道路が狭く、車の出入りが困難な場所も多いため、救急時の搬送に苦慮しておりましたが、担架の購入により、救急時に備えることができ、感謝しております。



バス停に設置したベンチは、住民の憩いの場として
もたいへん喜ばれています。ありがとうございました。

インフォメーション

information

みなさまのご厚意に感謝いたします。



次の方がたから、寄付金等のご厚意が本会に寄せられました。
ありがとうございました。(平成21年8月～平成21年10月)

○(故)野崎 カズ子 様



○富国生命保険相互会社 様
チャリティーコンサートでの益金を
寄付される
鹿児島支社長 森川 勝利 様(中央)と
外野倶楽部副会長 永留 裕子様(左)



○株式会社エヌ・ティ・ティ・コム九州 様
寄付をされる
鹿児島支店長 瀬尾 広夫 様(左)



○鹿児島信用金庫 様
チャリティー演奏会での益金を寄
付される
理事長 後藤 孝行 様(右)



○アトリエ笑福 様
絵画を寄贈される
ばくすう
右田 貌崇 様

鹿児島県社会福祉協議会役員等が 全羅北道を訪問

全羅北道社会福祉協議会への公式訪問及び道内福祉施設等視察

鹿児島県社会福祉協議会では、去る8月26日(水)～30日(日)の5日間、溝口会長を訪問団長に役員等11人で韓国全羅北道を訪問しました。

今回の訪問は、鹿児島県社会福祉協議会と全羅北道社会福祉協議会との間で、社会福祉に関する情報等を相互に交換し、住民の福祉増進に寄与することを目的に平成15年10月に姉妹盟約を締結したことに基づくもので、通算3回目の公式訪問となりました。全羅北道社会福祉協議会の運営現況などについての情報交換をはじめ、全羅北道庁では福祉女性保健局長からの施策説明、道内社会福祉関係団体役員との意見交換及び道内社会福祉施設4ヶ所の研修視察等を行い、幅広く交流を深めました。

今回の訪問で得た成果を、今後の本会活動に活かしていくとともに、多くの社会福祉施設でも全羅北道との交流が進むことが期待されます。



▲アンゴル老人福祉会館利用者との交流



▲沈福祉女性保健局長の施策説明(全羅北道庁)



▲障害者総合福祉会館での授産事業視察



▲ウリナーシングホームでの運営状況説明



▲全羅北道社協役員と情報交換を終えて

広報紙「ふくしのひろば」は
本会のホームページでもご覧になれます。
また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779

E-mail soumu4@kaken-shakyo.jp

★この広報紙は、共同募金会の協力を得て発行されています。